

科目名		消化器内科学特論	
科目責任者	原 田 大	(第3内科学 教授)	
担当者	久 米 恵一郎	(第3内科学 准教授)	
	本 間 雄 一	(第3内科学 助教)	
開講時期: 1～2年次		単位数: 6 単位	時間数: 90分× 24 回
● 科目の教育目標 一般目標 (GIO) 様々の消化管疾患、肝胆膵疾患の病態を理解してその治療を細胞レベルで理解する。 行動目標 (SBOs) 1) 消化管、肝臓、胆嚢、膵臓の構造と機能を理解する。 2) 細胞内小器官の超微形態とその機能を理解する。 3) 細胞の蛋白合成ならびに蛋白分解機構を理解し、疾患との関連を理解する。 4) 細胞への小胞体ストレスや酸化ストレスに対する細胞の反応を理解する。 5) 肝炎ウイルスの構造と肝炎の起こるメカニズムを理解する。 6) ウイルス性肝炎の治療を理解する。 7) 消化器領域での発癌機構を理解する。 8) 銅代謝とウイルソン病の病態と治療を理解する。 9) 細胞増殖におけるHippo-YAP系の働きを理解する。			
● 評価方法	カンファランスでの討論・発表等で評価する。		
● 参考文献	カンファランスの中で必要に応じ紹介する。自分で検索する。		

授 業 項 目 (内 容)
肝臓の構造に関して
細胞内小器官の構造と機能
蛋白合成機構に関して
プロテアソームの機能とその異常
オートファジーの機能とその異常
脂質代謝とその異常
小胞体ストレスと細胞内封入体に関して
細胞の増殖機能に関して
肝臓での発癌機構と癌の治療に関して
銅の代謝機構に関して